

令和7年3月25日

## 卒業式式辞

温かな春の日差しにつつまれ桜の花も咲きはじめました。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんに卒業証書を渡しました。この卒業証書は、小学校六年間の全課程を修了した証（あかし）です。皆さんは、この六年間で多くのことを学びました。勉強だけでなく、様々な活動を通して、心も体も大きく成長しました。中学生になる準備は万全です。幡代小学校で培った力を中学校でも存分に発揮してください。

保護者の皆様、入学した時には、小さかった子供たちがこのように大きく成長し、卒業の日を迎えました。入学してからあつという間のようでしたが、振り返れば、六年間に様々なことがあったことと思います。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。そして、本日までの六年間、特にコロナ禍の四年間、様々なご理解ご協力をいただいたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

ご来賓の皆様、本日はご多用の中、ご臨席を賜りましてありがとうございます。本日、百二十三名の子供たちが、このように立派に成長して卒業の日を迎えることができました。子供たちは幡代小学校を卒業しますが、地域の子供であることにかわりありません。これからもよろしく願いいたします。

五年生の皆さんは、今日の立派に成長した卒業生を見習い、幡代小のよき伝統を引き継ぎ、これからリーダーとしてさらに素晴らしい幡代小学校を築いてください。

今年度の6年生は素晴らしい学年でした、最後の最後まで、何事にも前向きに取り組みました。卒業させたくありません。しかし、ここまで成長した皆さんがさらに成長するためには、小学校は小さすぎます。中学校というより大きな世界で様々なことを学んでください。

私の好きな言葉に「少しくらい寒い方がいい」という言葉があります。寒いとすぐにヒーター、暑いとすぐにクーラーでは、寒さや暑さに強い体はつくれません。心も同じです。つらいからといってすぐにあきらめてしまつては、心も成長しません。困難なことやつらいことを乗り越えることで、人は成長します。これから皆さんの前には様々な壁が現れます。その壁を乗り越えてください。そこには新しい世界が広がっています。しかし、壁を乗り越えると、また新たな壁が現れます。そして、その壁をまた乗り越えてください。乗り越えるとまた新たな壁が現れます。そして、その壁を乗り越える。そのように壁を乗り越え続けることで人は成長していきます。ただ、どうしても一人では乗り越えられない壁もあります。その時は、まわりの人に遠慮なく助けを求めてください。皆さんは一人ではありません。友達、家族がいます。幡代小学校の先生たちも皆さんの味方です。いつまでも応援しています。

皆さんが、中学校、そして、さらに広い世界で活躍することを期待して式辞いたします。

令和七年三月二十五日

渋谷区立幡代小学校 校長 加納一好